

# 近代英語協会ニュースレター

2021年(令和3年)10月26日

近代英語協会事務局分室

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12

愛知学院大学文学部前田研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/index.html>

電話: 0561-73-1111(内線 3264)

年会費振替口座 00810-9-5821

## 1 第38回大会 (ZOOM 大会) の報告

第38回大会は、去る8月21日(土)に開催されました。今年度も新型コロナウイルス対策のため、引き続き対面式の大会の開催を見送り、ZOOMを用いたオンラインでの開催とさせていただきます。大会では、まず会長の中村不二夫先生より開催のご挨拶を頂き、続いて柴崎礼士郎先生を中心に行われたシンポジウム、および5件の研究発表が行われました。そして、講演として、筑波大学・聖徳大学名誉教授藤原保明先生による「英語史研究における部分と全体」と題する大変興味深いご講演をいただきました。オンラインでの大会開催は、協会としては初めての試みでしたが、皆様のご協力のおかげで、大きな支障なく大会を終えることができました。発表者、講師、司会者、およびご参加いただいた会員の皆様に謹んで感謝申し上げます。

今回の大会の参加者数は80名でした。ZOOMに不慣れな方もおられる中、数多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございます。また、会員の皆様には様々な不自由をおかけし、この場を借りて深くお詫び申し上げます。なお、年度別参加者数は次の通りです。

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
大会	85	79	84	83	92	84	85	94	94	—	80
懇親会	38	40	39	40	48	42	44	50	50	—	—

次回大会もぜひふるってご参加ください。

## 2 第39回大会について

次回大会は、2022年6月25日(土)、愛知県名古屋市の名古屋工業大学において開催を予定しております。シンポジウムについては、塚本聡先生(日本大学)を中心に行われる予定です。また、来年度もコロナ禍が続き、対面での大会の開催が不可能な場合はオンラインでの開催となる可能性もございますので、その際はご了承ください。

個人研究発表の締め切りは2022年1月31日(月)です。発表をご希望の方は、(a) 発表題目と400字程度の要旨、(b) 氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)・大会発表助成金希望の有無(※参照)を別文書として作成し、下記の(ア)、(イ)いずれかの方法でご応募ください。様式は、協会ホームページにあります。なお、本協会の趣旨により、発表内容は近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資するものとしてください。

(ア) Eメール添付による応募

- ・ (a) 特殊文字を使用される場合はMSWord文書、及びそのPDFファイルを添付
- ・ (b) 特殊文字を使用されない場合はMSWord文書のみを添付

宛先 [m-maeda@dpc.agu.ac.jp](mailto:m-maeda@dpc.agu.ac.jp)

(イ) 郵送による応募

- ・ (ア) の (a) または (b) のいずれかを記憶したCD-R
- ・ 打ち出し原稿

宛先 〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12

愛知学院大学文学部 前田 満

#### ※ 大会発表助成金制度について

本協会では、大会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に大会発表を奨励するため、大会発表助成金制度を設けております。助成対象者は、発表を行う大学院生・常勤職のない会員（発表を行う年の4月1日時点で37歳以下または修士号取得後10年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者）といたします。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費（往復）とし、交通費の計算は協会事務局が行います。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙（発表応募時に希望を明記）に詳細を記入し、事務局に提出頂きます。多くの発表の応募をお待ちしております。

### 3 理事の交替について

2022年3月31日をもちまして今林 修（広島大学）、柴崎礼士郎（明治大学）、滝沢直宏（立命館大学）、田中智之（名古屋大学）、谷 明信（兵庫教育大学）、堀田隆一（慶應義塾大学）（五十音順）の6名の理事が任期を満了して退任されます。長きにわたり協会の発展にご尽力頂き、誠に有り難うございました。なお、新理事の人選については、次のニューズレターにてお知らせいたします。

### 4 『近代英語研究』 第37号の発行について

第37号は予定どおり刊行され、先日本年度の大会資料とともに会員全員に郵送させていただきました。会員の皆様の中で、もしお受取になっていない方がいらっしゃいましたら、お手数ではございますが、事務局長（前田）までメール（m-maeda@dpc.agu.ac.jp）にてお知らせください。改めて送付させていただきます。

### 5 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞の選考結果について

本年度は、編集委員会による厳正なる審議の結果、残念ながらいずれの賞に対する該当者もおりませんでした。次年度の応募をお待ちいたしております。なお、賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類があります。前者は若手による当該年度の掲載論文の中から、特に秀でている論文に、後者は最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与えられます。最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与され、その荣誉が讃えられます。

選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、「原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」（選考規程第2条より）です。選考希望の意思表示のため、論文投稿の際、「執筆者情報ファイル」内の項目3の該当欄に「○」をご記入ください。

### 6 『近代英語研究』 掲載論考の転載（および刊行）許可申請手順について

『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては本協会に属することをご理解いただきたいと思います。掲載済み論考を著者の方がご自身の学位論文へ転載を希望される場合、および、その論考が転載された学位論文の刊行を希望される場合もあるかと存じます。そのような場合につきましては、編集幹事宛に所定の許可願をご提出いただくことで、協会から許可書を発行させていただきます。ご希望の方には申請書をお送りいたしますので、編集幹事（鈴木・船田）までEメールにてご連絡をお願いいたします。

### 7 『近代英語研究』 掲載論考の、研究機関（大学等）リポジトリへの登録について

上記の通り、『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては本協会に属することをご理解いただきたいと思います。掲載済み論考を著者の方が研究機関（大学等）リポジトリへの登録を希望される場合もあるかと存じます。その場合につきましては、協会誌の発行の1年後から登録を可能とすることになりましたので、登録する前に編集幹事（鈴木・船田）まで、ご相談のご連絡をお願いいたします。

### 8 『近代英語研究』 電子アーカイブ化

J-STAGE（独立行政法人科学技術振興機構）に、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。パソコン等でサイトにアクセスすると、創刊号から第25号（2009年）までの論考を、現在ご参照いただけます。近代英語協会ホームページ<<http://www.modernenglish.jp/index.html>>左下の「協会出版物」からのリンクが便利です。なお、本

年度中に 26 号 (2010) から 32 号 (2016) までの号をアップロードする予定です。いましばらくお待ちください。また、『近代英語研究』の冊子と同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご了解いただきたく存じます。

## 9 ホームページの図書紹介欄について

会員の皆様が出版された文献を本協会のホームページでご紹介いたします。自薦、他薦は問いません（他薦の場合は著者の了承を得てください）。紹介されたい著書（翻訳本も可）のタイトル、表紙の写真、および紹介文（800 字程度まで）を添付し、IT 管理者の柳朋宏先生まで電子メールでお送りください。なお、書籍の実物の事務局への送付は控えてください。

## 10 会費納入のお願い

本年度大会資料をお届けした 7 月下旬、会員お一人お一人に振込用紙を同封いたしました。どうか、納入漏れのないう今年度中に請求額全額をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。協会の円滑な運営のため、ご協力ください。なお、3 年間未納の場合は、規定により退会となりますのでご注意ください。

## 11 終身会員制度の導入について

終身会員の申込資格は次の(1)、(2)のいずれかとなります。

- (1) 66 歳以上、または当該年度中に 66 歳になる会員で、過去 10 年間会費を全納した会員
- (2) 顧問として承認された会員

申請の際には、所定の申請書を提出し、終身会費 3 万円を払ってください。申請用紙、ならびに払込用紙は事務局長（前田）までメール（[m-maeda@dpc.agu.ac.jp](mailto:m-maeda@dpc.agu.ac.jp)）にてご請求ください。申請された年度より年会費は不要となります。終身会員には大会の懇親会に無料で参加できる特典もあります。なお本年度の理事会決定により、理事の方は終身会員への申請ができませんのでご了承ください。

## 12 所属、および連絡先通知のお願い

所属、および連絡先（住所、E メールアドレス等）に変更があった場合は、速やかに事務局長（前田）までメール（[m-maeda@dpc.agu.ac.jp](mailto:m-maeda@dpc.agu.ac.jp)）にてお知らせください。学生会員の方が学生の身分を終えられた場合も、会員種別が「学生会員」から「一般会員」へ変更となりますので、必ずメールにてお知らせください。 よろしく願いいたします。

## 13 出版事業について

今年度の理事会において、今年度からこれまで刊行してきた協会誌『近代英語研究』とは別の出版業務を行うことが決定されました。目的は協会内の研究を振興し、とくに若手研究者に執筆の機会を提供することを主な狙いとし、また、協会の出版活動を広く宣伝し、新しい会員獲得を目指すことです。『近代英語協会叢書』(MEA Studies in English Philology and Linguistics) の第 1 号の概要は以下のとおりです。当協会の会員で会費の滞納がなければ、原則どなたでも投稿できます。

タイトル : *Linguistic and Stylistic Approaches to Speech, Thought and Writing in English: Diachronic and Synchronic* [MEA Studies in English Philology and Linguistics 1] (仮)

出版社 : Peter Lang

編者 : 今林 修・小倉美知子・中尾佳行

原稿締切り : 2022 年 9 月末日

執筆要領等詳細については、近日中に協会 HP (<http://www.modernenglish.jp/>) にアップロードする予定です。なお本出版業務には協会予算から 400,000 円が助成されます。

第2号以降の出版計画は以下のとおりです。ぜひふるって投稿して下さい。

- a. 『近代英語協会叢書』(MEA Studies in English Philology and Linguistics) という名称でシリーズ化する。
- b. 状況に応じ3年～4年に1度のペースで出版企画を策定する。
- c. 広く会員から企画を募集し、複数の企画が競合する場合は理事会で諮り選定する。(現段階では招待執筆のような特別なケースを除き、執筆は会員の特権とする。)
- d. 多くの会員が投稿できるようテーマの設定に配慮する。
- e. 複数の编者による企画とし、1人に負担が集中しないよう配慮する。
- f. 協会の財政状況に応じて最大40万円の資金援助を行う。
- g. 査読は最小限にとどめる。

## 14 事務局より

本年度こそ通常どおりに対面での大会が開催できるかと事務局一同期待いたしておりましたが、コロナ禍の猛威はいぜん収まらず、今年度の大会は、ZOOMを用いたオンラインでの開催とさせていただきました。オンラインでの大会開催は、当協会としては初の試みでしたが、会員の皆様のご協力のおかげで、無事大会を終えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。ただし通常の大会では、講演が終わって閉会の辞の後は懇親会というのが慣例なので、個人的にはやや物足りなさを感じました。今後のコロナ禍の動向については、世間でも様々な予測がなされており、先行きはまったくわかりません。第6波が来るとの予測もあります。コロナ禍が始まって以来、ニューズレターにこのような暗いことを書くことが多いのですが、考えようによってはコロナ禍も悪いことばかりではありません。2年続いた遠隔開催のため、大会の経費が浮き、余剰分の予算を出版事業へと回すことができるようになりました。詳細については13の項目でお知らせしましたが、今後は出版補助を積極的に行い、会員の皆様が自由に投稿できるように配慮する予定です。とりわけ将来ある若手研究者の皆様の投稿を期待しております。これも毎回最後に書いていることですが、来年こそ会場である名古屋工業大学で直接皆様にお会いすることを事務局一同心待ちにしております。

事務局長 前田 満

- 協会誌について  
鈴木大介・船田佐央子(五十音順) (編集幹事共通: mode.assoc@gmail.com)
- ホームページについて(会員の出版された図書紹介もお寄せください)  
柳朋宏(※ IT管理者の連絡先は後日ホームページ上に掲載予定)
- その他全般について  
前田満(m-maeda@dpc.agu.ac.jp)